

圧倒的立地の優位性で人が集まるまちへ

6月市議会で「ブルーライン延伸事業」「まちづくり方針」を質問

「鉄道事業法に基づく許可」「環境影響評価」

●あまがさ裕治

ブルーライン（横浜市高速鉄道3号線）の延伸事業の現在進められている事務手続きの名称と内容、さらに交渉が必要とされる手続きであれば交渉主体はどうなっていますか？

■交通政策室

鉄道事業許可取得は、鉄道事業者が国土交通省による鉄道事業の許可を得る手続きで、横浜市交通局が主体となり、国や関係機関と協議調整を行っています。環境影響評価については、横浜市環境影響評価条例に基づく「配慮書」の手続きを令和2年度に実施し、現在「配慮市長意見書」を踏まえ、「方法書」の手続きに向けた準備を横浜市交通局が主体となり進めています。

新百合ヶ丘駅周辺まちづくり方針策定について

●あまがさ裕治

鉄道と鉄道が交わるような大きな経済活性化を背景にする再開発気運の高まりの中における方針策定には、民間事業者や市民の意見を最大限取り入れ、方向性が固まり次第フレキシブルに決定す

べき、と提言しましたが進捗は？

■交通政策室

新型コロナウイルス感染症の影響により社会ニーズ等が変化中、今後のまちづくりの検討の視点や進め方を「基本的な考え方」として示しながら、地権者や新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムなどとの意見交換を継続して実施し、都市機能の更なる集積や交通環境の改善等について検討を進めています。

今後のスケジュールについては、地権者などの御意見や駅周辺の開発動向等を踏まえながら、本年中に、新百合ヶ丘駅周辺を含む、根幹的な都市計画の方針を定める「都市再開発方針」等の見直しに着手するとともに、ハード・ソフト両面から総合的な検討を進め、令和6年度の「まちづくり方針」の策定を目指します。

ヨネッティー王禅寺付近の中間駅について

●あまがさ裕治

周辺に市街化調整区域が多いことや防音壁が建築されている沿道などの現況を含め非常に難しい問題があることを指摘してきました。すでに鉄道

事業許可の交渉中ということを見ると、まちづくりの方針を早急に打ち出しておく必要がありますが現段階での方向性について副市長の見解は？

■藤倉副市長

ヨネッティー王禅寺付近のまちづくりについては、都市計画マスタープランにおいて、「幹線道路沿道エリア」として位置づけ、良好な住環境と生活を支える商業施設などが調和した街並みの形成や、沿道建築物の不燃化などを計画的に進めてきました。

中間駅の整備については、概略ルート・駅位置の決定に際し示した当該付近のまちづくりの方向性の中で、交通結節機能の強化等による川崎北部地域の公共交通ネットワークの充実や駅周辺の活性化に資するまちづくりを進めます。今後は延伸計画の進捗状況を踏まえつつ、周辺に立地する市民利用施設等との連携による駅周辺の活性化に向け、関係者等との協議を行うとともに、早期のまちづくり方針策定に向け取組を進めていきます。

●要望 あまがさ裕治

新百合ヶ丘駅周辺まちづくり方針策定については令和6年度までに作成するとの答弁でしたが、民間計画が進んでいけばフレキシブルに作業を進めていくことが確認されました。

中間駅まちづくりの検討の際にはヨネッティー付近の道路渋滞や車線規制の整理なども十分配慮するよう要望しました。

区をあげて、新百合ヶ丘駅周辺と山口台住宅地の維持管理を「ふるさと麻生八景」大切にしていきたい麻生区の景観

麻生八景の詳細は、区のホームページを参照「麻生八景」で検索



●あまがさ裕治

次世代に受け継いで生きたい麻生魅力を八つの視点で見つめ、選定された12か所は麻生区の魅力ポイントです。主なものは里山や歴史的建造物ですが、その中でも特筆されるのは、まちなみとしての「新百合ヶ丘駅周辺」と「山口台住宅街」です

新百合ヶ丘駅周辺は新百合ヶ丘駅周辺都市景観形成地区、これは万福寺の農住都市構想において区画整理事業が行われたところで、平成10年度にはこの駅周辺の景観形成が「都市景観100選」に選ばれています。この都市景観大賞は、全国の都市景観に対する様々な取組事例から特に優れたものを国土交通大臣が表彰する制度です。

山口台住宅地は、「緑と文化の香り高いアメニティ・タウン」として、自治管理組合が結成され、街づくりに積極的に取り組んでいる。住宅街の統一された街路樹や白いタイルが美しい街並み。春にはサツキ

が道路脇や家の前に一斉に咲き、豊かな暮らしを演出している」と記されています。バブル期には坪400万円超えといった日本でも有数の良好な住宅街とされていました。

しかし、時間の経過とともに、美観を構成している象徴でもある新百合ヶ丘駅周辺のペDESTリアンデッキのタイルや、山口台の生活道路に散りばめられている白いタイルが老朽化し、欠損部分の修復ができず、景観が崩れてしまう恐れがあります。道路公園センターも維持管理に大変苦勞をしている現状がありますが、ふるさと麻生八景を守る観点からも、麻生区全体の問題として対応すべきです。

■麻生区長

ふるさと麻生八景は、麻生区の魅力を「麻生の新し



▲タイルの補修も景観への配慮が必要

さを感じる」「麻生区の暮らしを楽しむ」等の8つのテーマに分け、12か所の地域について、「平成16(2004)年度 麻生区魅力ある区づくり事業」で選定したものです。

その後、新百合ヶ丘駅周辺においては芸術系の大学やホールなどができ、区民と区役所が連携して音楽イベントなどを開催し、良好な景観と賑わいの創出により、魅力的なまちづくりが進められました。山口台地区については、緑と文化の香り高いアメニティ・タウンとして、地域で環境保全協定を定め、街並みの景観維持・保全や地域緑化の活動など身近な環境づくりに積極的に取り組んでおり、区役所としても、住民の皆さまの主体的な活動を支援しています。麻生八景をはじめとする様々な景観は、麻生区の魅力を織りなす貴重な地域資源であり、これらの資源が引き続き活かされることが重要と考えています。関係局とも連携を図りながら、町内会・自治会や各種団体の支援を行い、区民の皆さまがまちに愛着と誇りを持ち、誰もがくらしやすいまちづくりを進めたいと考えています。

●提案 あまがさ裕治

関係局とも連携を図るとの答弁でしたが、上下水道局の管路の耐震化による工事の際に実施される白タイルの復旧も検討に加えることを提案します

水処理センター多目的広場にトイレ新設

麻生水処理センター多目的広場横の仮設トイレについて、きちんとした公衆トイレにして欲しいとの要望が利用団体の皆様からだされていました。上下水道局と交渉して昨年予算化しましたが入札が不調となっていました。

この度ようやく契約がなされ盆踊り後の8月から工事を開始することが決まり10月から新設トイレの供用開始予定となりましたので報告します。

水処理センター内麻生ふれあいの広場屋外トイレ新築工事



▲既存トイレ



▲新設トイレ

	令和4年度													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
工事	契約(5/20)		工事準備及びユニットトイレ制作期間				現場作業期間							
トイレ状況他	既存NPOトイレ使用可能期間			納涼祭り(7/23雨天順延)		NPOによる既存トイレの撤去(予定)		トイレ使用不可					10月~新設トイレ使用可能	